

東京アマデウス合唱団
第37回定期演奏会

18世紀オーストリアの 教会音楽

Johann Ernst Eberlin
(1702~1762)

Johann Michael Haydn
(1737~1806)

Johann Georg Albrechtsberger
(1736~1809)

2018年10月7日(日) 同仁キリスト教会礼拝堂

Tokyo Amadeus Chorus



ご挨拶

本日はお忙しい中をご来場賜り、厚くお礼申し上げます。

去年は、沢山の伴奏で華やかに演奏致しましたが、
今年は、18世紀オーストリアの教会音楽の3人の作曲家
の作品から、日本では演奏する機会が少ないと思われる
ア・カペラと通奏低音のみの曲を取り上げてみました。

今宵は昨年より伴奏は少ないのですが、オーストリア
教会音楽の心地よい響きを、この教会で何とか皆様に
お届けすることが出来ますようにと願っております。

東京アマデウス合唱団 団長 柿沼 哲



P R O G R A M

Johann Ernst Eberlin (1702~1762)

ヨーハン・エルンスト・エーベルリン

Vier eucharistische Motetten. Continuo

四つの聖体拝領モテット

Missa in contrapuncto, g-Moll Continuo

対位法によるミサ曲ト短調

… 休 憩 …

Johann Michael Haydn (1737~1806)

ヨーハン・ミハエル・ハイドン

Vier Stücke a cappella

四つの小品

1. Christus factus est (MH58)

キリストは我らのために従順なり

2. Surgite sancti Dei de mansionibus vestris (MH311)

神の聖徒等よ、汝らの住まいより起き出でて

3. Sancti Dei, omnes intercedere dignemini (MH312)

神の聖徒等よ、すべての者にとりなしをなし給え

4. Jesu, Redemptor omnium (MH313)

すべての者のあがない主なるイエスよ

Johann Georg Albrechtsberger (1736~1809)

ヨーハン・ゲオルク・アルブレヒツベルガー

Ave Regina coelorum Orgel

ようこそ、諸々の天の女王

Tenebrae factae sunt a cappella

暗闇が訪れた

Domine in auxilium Continuo

主よ、私を救おうと気遣ってください

(選曲 辻村順子)

PROFILE



指揮 水野克彦

東京藝術大学卒業。
ピアノを滝崎鎮代子、クラリネットを千葉国夫、室内楽を細野孝興の各氏に師事。オルガンの手ほどきを今井奈緒子氏に受ける。
藝大バツハカンタータクラブに在籍中、小林道夫氏の薫陶を受ける。
日本オルガニスト協会会員。



チェロ 伊藤恵以子

東京藝術大学、同大学院博士課程修了。
チェロを三木敬之、R・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。
日本音楽コンクール入選。パリ・エコールノルマルで学ぶ。
在学中バツハカンタータクラブに所属し、小林道夫氏の指導の下で数多くの宗教曲に触れる。現在ピアノ四重奏Ensemble Deliceや、デュオPiacevole等の室内楽、モダンとバロック楽器での合唱の伴奏等様々な演奏活動を行っている。



コントラバス 栗田涼子

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。
コントラバスを永島義男、黒木岩寿の各氏に師事。
2007年、ミュージックマスターズコース in かずさに参加。
バツハ協会管弦楽団の公演に出演するなど、フリーの演奏家として活動中



オルガン 伊藤一人

東京藝術大学大学院修了。
チェンバロ・通奏低音を岡田龍之介、鈴木雅明、大塚直哉各氏に師事。
ボブ・ファン・アスペレン、クリスティーネ・ショルンスハイム、シェティル・ハウグサン、アリー・ジルベライシュ各氏のマスタークラスを受講。
通奏低音奏者として数多くのアーティストと共演している。

ヨーハン・ミヒャエル・ハイドン (Johann Michael Haydn 1739-1806)。ヨゼフ・ハイドンの弟です。若い頃はウィーンで音楽活動をしていましたが、後半生はザルツブルクに定住し多くの教会音楽、世俗音楽を残し、また教育活動にも熱心でした。アマデウス・モーツァルトとも親しくのちモーツァルトが晩年にレクイエムの作曲を始めた時、ミヒャエル・ハイドンのレクイエムを取り寄せ、参考にしたと言われています。

ヨーハン・エルンスト・エーベルリン (Johann Ernst Eberlin 1702-1762) もこの街で活躍した人です。アマデウス・モーツァルトのお父さんであるレオポルト・モーツァルト (1719-1787) より少し上の世代で、最終的には宮廷楽長兼大聖堂楽長になった人です。教会音楽ではパレストリーナ以来の古様式を得意とし、対位法の作品が多いようです。

アマデウス・モーツァルトはザルツブルクを出て、1781年25歳の時ウィーンに拠点を移します。そのウィーンで活躍していたのがヨーハン・ゲオルク・アルブレヒツベルガー (Johann Georg Albrechtsberger 1736-1809)。ほぼヨゼフ・ハイドンと同じ時代を生き、没年も同じです。

1792年ベートーヴェンはヨゼフ・ハイドンの弟子になるため、ボンからウィーンに出てきます。ところがハイドンは1794年ロンドンに出発してしまうので、その後を引き受けたのがアルブレヒツベルガー。週3回のペースで2年ほどベートーヴェンは対位法のレッスンを受けています。アマデウス・モーツァルトとも親しく、のちウィーンを中心の教会である聖シュテファン大聖堂の楽長を務めました。

Johann Ernst Eberlin

Vier eucharistische Motetten

聖体の祝日のための4つのモテット

聖体の祝日はカトリックの典礼暦で三位一体の主日の後の木曜日ないし、日曜日に定められています。聖体とはキリストの体のことで、カトリックの重要な典礼であるミサの本質はキリストの体を共に頂く事で、これがカトリックの秘跡のひとつです。聖体の祝日はこのミサの聖体拝領に結びついています。この祝日のミサでは秘跡の行列が行われていました。

この4つのモテットはザルツブルク聖ペテロ教会のミサ行列に供したモテットの様です。エーベルリンの時代はバロックから古典派への移行期、バロックの音楽修辞学技法が強く残っています。

例えば一曲目 *Benedicam Dominum* では、“semper laus eius in ore meo” (いつでも主の榮譽を口にしているのです) というテキストがあります。この *semper* (いつでも、常に) という言葉に対する音価は長く引き伸ばされ、言葉の意味に沿っています。また *laetentur* (喜ぶ) という言葉は16分音符を取り混ぜ、うきうきするような音形が当てはめられています。1曲目は詩篇34篇による主への賛美、2、3曲は祈禱書に基づく聖体の秘跡の喜び、第4曲は感謝そしてアーメンで結ばれます。

Missa in contrapuncto in g

対位法によるミサ曲ト短調

タイトルにあるように全編対位法で構成されたミサ通常文です。楽譜の前文によるとこのミサの用途は洗足木曜日のために作曲されたということです。洗足というのはイエスが最後の晩餐の前に弟子たちの足を洗ったというヨハネ福音書の記事に基づくものです。復活祭の前の聖なる3日の第一日目 (聖木曜日とも言います)。

タイトルではト短調、そして各曲の終止音は空のト

調（第3音が無い）となっていますが、メロディーの動きはほとんどその下調である二短調です。ドリア旋法といっても良いかと思えます。

さらに特徴は一部を除いてほとんど下降音形であるということです。これは受難週のみサであることと関係するのかもしれませんが。唯一上昇音形があるのはCredoの“et resurrexit”（復活された）というところ。このようなところからも音楽修辞学の反映が色濃く出ていると考えられます。

.....

Johann Michael Haydn

Vier Stück

四つの聖体拝領モテット

このモテット集は現代の出版社がミハエル・ハイドンの宗教合唱曲を4曲組み合わせて出版したものです。

“Christus factus est”はこのなかでも取り上げられる機会の多い曲です。典礼としては聖木曜日の昇階唱に基づきます。テキストはパウロによる「フィリピの信徒への手紙」2-8。いきなりアポジャトゥーラによるぶつかり音で「キリストはそうであった」と始まります。テキストの最初の行は冒頭だけで、以下の文は曲中で繰り返されます。

繰り返される“obediens”（従順である）ということばに対しては、ほとんどの箇所では不協和音が伴います。「従順」の裏にあるそうではない和音の響きが印象的です。

他の3曲は現在では使われなくなってしまった典礼文です。1782年ザルツブルク教区1200年記念祭典のために作曲されたようです。

.....

Johann Georg Albrechtsberger

Ave Regina coelorum

ようこそ、諸々の天の女王様

聖母マリアのアンティフォナといわれる聖歌のひとつです。中世世界のキリスト教ではマリア信仰が盛ん

になり、聖母マリアをたたえる聖歌が数多く作られました。この元となったグレゴリオ聖歌は聖母の清めの祝日から聖週間の前の水曜日の聖務日課で歌われたものです。テキストは一行8音節の韻文。2行単位で同じ韻を踏んでいます。今回のこの曲では2行単位に1行目をホモフォニック進行、2行目をカノンで結んでいます。

Tenebrae factae sunt

暗闇が訪れた

カトリックではミサとは別に、聖職者たちが行う祈りの務めとして聖務日課という祈りが毎日執り行われます。時課といって時代、会派によって違いはありますが、多い時で一日8回くらいの祈りの時間があります。復活祭の直前、イエスの十字架上の死があった金曜日を中心に木曜日から土曜日までの3日間を「聖なる3日間」として特別な祈りが行われます。聖務日課では深夜から未明にかけて行われる朝課では旧約聖書の「哀歌」が唱えられます。「エレミヤの哀歌」といわれ多くの作曲家が名曲を残しています。

聖金曜日の朝課では新約聖書のイエスの死に関するテキストが、「哀歌」に対する応唱としてとなえられ、燭台のロウソクが一本ずつ消され最期は暗闇となる儀式があります。この応唱がこの曲。テネブレ(tenebrae)とは暗闇のことです。

ホモフォニックな進行でシンプルな和声に基づいたイエスの最期のことばが印象的です。

Domine in auxilium

主よ、私を救おうと気遣ってください

テキストは詩篇40篇(ウルガタ39篇)ダビデの主に対する賛歌ですが、この部分は自身の罪のため窮地に追い込まれた、ダビデの主に対する救いへの嘆願。カトリック教会のみサでは聖霊降臨祭後の第16主日、奉獻唱で歌われます。みサではこの箇所では使われないアレリヤが付加されています。アルブレヒツベルガーの見事な対位法を聴くことができます。

歌 詞 対 訳

ヨーハン・エルンスト・エーベルリン
Johann Ernst Eberlin

対訳：水野克彦

Vier eucharistische Motetten

1.

Benedicam Dominum in omni tempore
semper laus eius in ore meo.
In Domino laudabitur anima mea,
audiant mansueti et laetentur.
Gustate et videte,
quoniam suavis est Dominus.
Beati omnes qui sperant in eo.

2.

O sacramentum, o grande mysterium!
O admirabile, o venerabile convivium
in quo salus, in quo spes,
in quo vita peccatorum adoratur,
in quo delicias angelorum veneramur.

3.

O felix caritas! O cara felicitas!
O vera jucunditas, o vera tranquillitas.
Alleluja.

4.

Agimus tibi gratias, omnipotens Deus,
pro universis beneficiis tuis,
qui vivis et regnas in saecula saeculorum.
Amen.

Missa in contrapuncto in g

Kyrie

Kyrie eleison.
Kyrie eleison.
Kyrie eleison.

四つの聖体拝領モテット

私はどのような時にも主を誉めたたえるでしょう、
いつでも主の栄誉を口に行っているのです。
私の魂は主を誉めるでしょう、
柔和な人々は聴いて喜ぶに違いありません。
あなた方は味わいなさい、そして見なさい、
主は甘く、目に快いのですから。
すべての祝福された人々、それは主に信頼する人々です。

おお秘跡よ、おお偉大な奥義よ。
おお感嘆すべき、尊ぶべき宴（うたげ）よ、
その中に無事が、その中に希望が、
その中に罪人たちの生命が祈願され、
その中で諸天使が喜ぶのに私どもは敬意を表します。

おお恵まれた隣人愛よ、おお貴重な幸福よ。
おお真実（まこと）の心地よさよ、おお真実（まこと）の平安よ。
アレルヤ。

私たちはあなたに感謝します、全能の神よ、
あなたのすべての恩恵に対して。
あなたは生きておられ、幾世までも統治されるお方だからです。
アーメン。

対位法によるミサ曲ト短調

憐れみの讃歌

主よ、憐れみたまえ。
主よ、憐れみたまえ。
主よ、憐れみたまえ。

Christe eleison.
Christe eleison.
Christe eleison.

Kyrie eleison.
Kyrie eleison.
Kyrie eleison.

Gloria

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.
Laudamus te.
Benedicimus te.
Adoramus te.
Glorificamus te.
Gratias agimus tibi
propter magnam gloriam tuam.
Domine Deus, Rex coelestis,
Deus Pater omnipotens.
Domine, Fili unigenite Jesu Christe.
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.
Qui tollis peccata mundi,
miserere nobis.
Qui tollis peccata mundi,
suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris,
miserere nobis.
Quoniam tu solus Sanctus.
Tu solus Dominus.
Tu solus Altissimus,
Jesu Christe.
Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris.
Amen.

Credo

Credo in unum Deum,
Patrem omnipotentem,
factorem coeli et terrae,
visibilium omnium, et invisibilium.
Et in unum Dominum Jesum Christum,
Filius Dei unigenitum.
Et ex Patre natum ante omnia saecula.
Deum de Deo, lumen de lumine,

キリストよ、憐れみたまえ。
キリストよ、憐れみたまえ。
キリストよ、憐れみたまえ。

主よ、憐れみたまえ。
主よ、憐れみたまえ。
主よ、憐れみたまえ。

栄光の讃歌

天のいとも高きところでは御神に栄光。
地では善意の人々に平和。
わたくしどもはあなたを誉めます。
わたくしどもはあなたを讃美します。
わたくしどもはあなたを礼拝します。
わたくしどもはあなたを崇めます。
わたくしどもはあなたへ感謝をあらわします、
あなたの大きいなる栄光のゆえに。
神なる主にして天の王、
全能の御父なる神よ。
主にして、神の一人子イエズス・キリストよ。
神なる主よ、神の小羊、御父の御子。
世の罪を取り除かれるお方、
わたくしどもを憐れみたまえ。
世の罪を取り除かれるお方、
わたくしどもの哀願を受けとめたまえ。
御父の右に座られるお方、
わたくしどもを憐れみたまえ。
あなたは唯一の聖なるお方であられますから。
あなたは唯一の主であられますから。
あなたは唯一の至高なるお方であられますから、
イエズス・キリストよ。
聖霊と共に、御父なる神の栄光のうちに。
アーメン。

信仰宣言

わたくしは信じます。唯一の神にして
全能の御父、
天と地の創り主、
すべての見えるものと見えないものの創り主を。
そして信じます。唯一の主なるイエズス・キリスト、
神の一人子であられる御子を。
すべての世に先んじて御父より生まれたお方を信じます。
神から出た神を、光から出た光を、

Deum verum de Deo vero.
Genitum, non factum,
consubstantialem Patri:
per quem omnia facta sunt.
Qui propter nos homines,
et propter nostram salutem
descendit de coelis.
Et incarnatus est de Spiritu Sancto
ex Maria virgine:
et homo factus est.
Crucifixus etiam pro nobis:
sub Pontio Pilato passus,
et sepultus est.
Et resurrexit tertia die,
secundum Scripturas.
Et ascendit in coelum:
sedet ad dexteram Patris.
Et iterum venturus est cum gloria,
iudicare vivos et mortuos:
cujus regni non erit finis.
Et in Spiritum Sanctum, Dominum,
et vivificantem:
qui ex Patre Filioque procedit.
Qui cum Patre et Filio simul
adoratur, et conglorificatur:
qui locutus est per prophetas.
Et unam sanctam catholicam
et apostolicam Ecclesiam.
Confiteor unum baptisma
in remissionem peccatorum.
Et exspecto resurrectionem mortuorum.
Et vitam venturi saeculi.
Amen.

Sanctus

Sanctus, Sanctus,
Sanctus Dominus Deus Sabaoth.
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.
Osanna in excelsis.
Benedictus qui venit in nomine Domini.
Osanna in excelsis.

まことの神から出たまことの神を信じます。
造られないで生まれたお方、
御父と同体のお方を信じます。
このお方からすべては創られました。
このお方はわたくしども人間のため、
わたくしどもの救済のために
天より降りて来られました。
そして聖霊によって肉体を
おとめマリアから受けました。
こうして人となられたのです。
更に、わたくしどもの身代わりとして十字架につけられ、
ポンティウス・ピーラトゥスによって苦しめられ、
葬られたのです。
そして三日目に復活なさいました、
聖書の預言どおりに。
のみならず、天に昇られ、
御父の右の座についておられるのです。
そしてこのお方は栄光を伴って再び来られ、
生きている者どもと死んだ者どもを裁かれます。
このお方の統治に終わりはないでしょう。
わたくしは聖霊を、主にして
生気の付与者なる聖霊を信じます。
聖霊は御父と御子から出て来られるのです。
聖霊は御父や御子と同時に
敬慕され、讃えられます。
聖霊は預言者をとおしてお語りになりました。
わたくしは唯一、神聖、普遍にして
使徒より継承された教会を信じます。
わたくしは唯一の洗礼を認めます、
罪の赦しに至るための洗礼を。
わたくしは死者たちの復活を待ち望みます。
そして来る世のいのちを待ち望みます。
アーメン

感謝の讃歌

聖なる、聖なる、
聖なる主にして万軍の神よ。
天と地はあなたの栄光で満たされています。
天のいとも高きところではオザンナ（我らに救いあれ!）。
祝福されたお方、主のみ名において来られるそのお方は。
天のいとも高きところではオザンナ（我らに救いあれ!）。

Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
miserere nobis.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
miserere nobis.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
dona nobis pacem.

平和の讃歌

世の罪を取り除かれる神の小羊よ。
わたくしどもを憐れみたまえ。

世の罪を取り除かれる神の小羊よ。
わたくしどもを憐れみたまえ。

世の罪を取り除かれる神の小羊よ。
わたくしどもに平和を与えたまえ。

ヨーハン・ミヒャエル・ハイドン
Johann Michael Haydn

対訳：野口 碩 補作：水野克彦

Vier Stücke

1. Christus factus est (MH58)

Christus factus est pro nobis obediens
usque ad mortem,
mortem autem crucis.

四つの小品

キリストは我らのために従順なり

キリストは我らのために従順なり
死に至るまで、
且つ十字架の死に至るまでも。

2. Surgite sancti Dei de mansionibus vestris (MH311)

Surgite sancti Dei de mansionibus vestris,
loca sanctificate, plebem benedicite,
et nos homines peccatores
in pace custodite.

神の聖徒等よ、汝らの住まいより起き出でて

神の聖徒等よ、汝らの住まいより起き出でて、
その場を聖別し、名もなき民等を祝福し、
我ら罪深き人びとを
平安のうちに守り給え。

3. Sancti Dei, omnes intercedere dignemini (MH312)

Sancti Dei, omnes intercedere
dignemini apud Eum,
qui vos elegit pro nostris necessitatibus,
ac nostra omniumque salute,
pro nostra omniumque salute.

神の聖徒等よ、すべての者にとりなしをなし給え

神の聖徒等よ、すべての者にとりなしを
なし給え、神の御そばにて。
神は我らの必要のために君らを選び給えり、
且つ我らすべての者のさいわいのために、
我らすべての者のさいわいのために。

4. Jesu, Redemptor omnium (MH313)

Jesu, Redemptor omnium
perpes corona praesulum,
in hac die clementius,
indulgeas precantibus.

すべての者のあがない主なるイエスよ

すべての者のあがない主なるイエスよ、
大祭司のとこしえの冠よ、
この日にさらなる慈悲もて、
祈れる者を御心に留め給わんことを。

Rex gloriose martyrum,
corona confitentium,
qui respientes terrea,
perducis ad caelestia.

殉教者たちの輝かしき王よ、
信仰を告白せし者の栄冠よ、
御身は世を捨てし者を
天の不思議へと導き給う

ヨーハン・ゲオルク・アルブレヒツベルガー
Johann Georg Albrechtsberger

対訳：水野克彦

Ave Regina coelorum

Ave Regina coelorum.
Ave Domina angelorum.
Salve Radix, salve porta,
ex qua mundo lux est orta.
Gaude Virgo gloriosa.
Super omnes speciosa:
Vale, o valde decora,
et pro nobis Christum exora.

ようこそ、諸々の天の女王様

ようこそ、諸々の天の女王様。
ようこそ、天使たちの女主人様。
お健やかに、根源であり門であるお方よ。
このお方から世界に光が射しました。
喜んでください、栄誉ある乙女よ。
すべての美を超えて美しいお方、
あなたは力強くあってください、ああ、大いに優雅なお方よ、
私たちのためにキリストに嘆願してください。

Tenebrae factae sunt

Tenebrae factae sunt,
dum crucifixissent Jesum judaei,
et circa horam nonam exclamabat Jesus voce magna:
Deus meus, ut quid me dereliquisti ?
Et inclinato capite, emisit Spiritum.

暗闇が訪れた

暗闇が訪れた、
ユダヤ人たちがイエスを十字架につけている間に。
九時ごろにイエスは大声で叫んだ。
「我が神よ、あなたはどのように私を見捨てたのですか」
そして頭を傾けて、息を引き取った。

Tunc unus ex militibus lancea latus ejus perforavit,
et continuo exivit sanguis et aqua.
Et velum templi scissum est a summo usque deorsum,
et omnis terra tremuit.

その時、兵士たちの中の一人が長槍でイエスの脇腹を突くと、
すぐに血と水が流れ出した。
すると神殿の幕が天辺から下まで引き裂かれ、
大地全体が地震に揺れた。

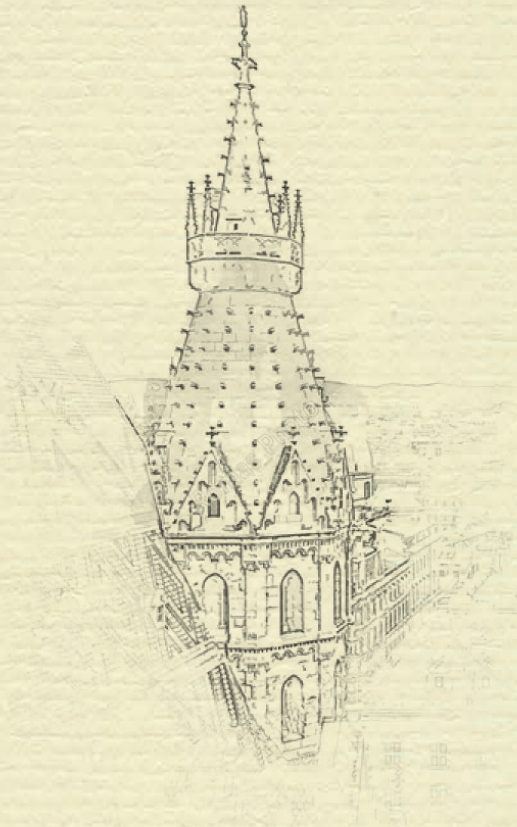
Domine in auxilium

Domine in auxilium meum respice:
confundantur et revereantur,
qui quaerunt animam meam,
ut auferant eam.
Alleluja.

主よ、私を救おうと気遣ってください

主よ、私を救おうと気遣ってください。
彼らが狼狽させられ、畏れますように。
彼らは私の魂を取り、
持ち去ろうとするからです。
アレルヤ。

18世紀 オーストリアの 教会音楽



演奏会の記録

	開催年月	主な演奏曲目	指揮	会場
第1回	1981.02	モーツァルト (レクイエム<ジュスマイヤー版>)	寺村博司	石橋メモリアル
第2回	1981.11	ヘンデル (メサイア)	渡辺央己	中央会館
第3回	1982.11	フォーレ (レクイエム)、ジョスカン・デ・ブレ、シュツ	鈴木 優	東京カテドラル
第4回	1983.09	モーツァルト (戴冠式ミサ)、ヴィクトリア	黒岩英臣	東京カテドラル
第5回	1984.09	モーツァルト (レクイエム<ジュスマイヤー版>)	黒岩英臣	東京カテドラル
第6回	1985.10	J.S.バッハ (カンタータ106)、ブクステフーデ、ハスラー	宮本昭嘉	石橋メモリアル
第7回	1986.10	モーツァルト (グローセミサ)、ヴィクトリア	鈴木 優	練馬文化センター
第8回	1987.10	シュツ (ムジカリッシェ・エクゼクイエ恩)、ハスラー (ミサ・セクンダ)	鈴木 優	石橋メモリアル
第9回	1988.12	モーツァルト (ヴェスペレ339)、J.ハイドン	齋藤明生	駒場エミナス
第10回	1989.11	モーツァルト (レクイエム<バイヤー版>)	齋藤明生	練馬文化センター
春の小演奏会	1990.05	ジョスカン・デ・ブレ (パンジェ・リングウ)、ハスラー	齋藤明生	石橋メモリアル
第11回	1991.02	モーツァルト (リタニア243)、J.M.ハイドン (ヴェスペレ)	齋藤明生	石橋メモリアル
第12回	1991.11	モーツァルト (ドミニクス・ミサ、サンクタ・マリア・マーテル・デイ)	齋藤明生	川口リリアホール
第13回	1992.11	シャルパンティエ (真夜中のミサ)、シュツ、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第14回	1993.11	モーツァルト (ミサ・プレヴィス275)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
15周年記念	1994.11	モーツァルト (レクイエム<ドルース版>) 渋谷混声と合同	齋藤明生	新宿文化センター
第15回	1995.10	J.S.バッハ (カンタータ182)、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第16回	1996.11	モーツァルト (ヴェスペレ339)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
第17回	1997.10	モーツァルト (ミサ・ソレムニス337、テデウム・ラウドムス)	齋藤明生	石橋メモリアル
第18回	1998.10	J.S.バッハ (カンタータ61・196)、D.スカルラッティ	齋藤明生	石橋メモリアル
第19回	1999.10	ラインベルガー (スタバト・マーテル)、J.M.ハイドン、ブルックナー	齋藤明生	石橋メモリアル
斉藤先生追悼	2000.07	ハスラー、メンデルスゾーン、ホミリウス	水野克彦	同仁キリスト教会
クリスマス	2000.12	四つのアヴェマリア(アルカデルト、ジョスカン・デ・ブレ、ヴィクトリア、パレストリーナ)	水野克彦	旧上野楽堂
第20回	2001.11	モーツァルト (トリニターティス・ミサ)、J.ハイドン	水野克彦	石橋メモリアル
第21回	2002.10	ドイツ・パロック (J.C.F.バッハ、シュツ、ブクステフーデ)	水野克彦	所沢文化センター
第22回	2003.11	ラインベルガー (スタバト・マーテル)、アルブレヒツベルガー	水野克彦	ルーテル市谷センター
第23回	2004.10	D.スカルラッティ、パレストリーナ、モンテヴェルディ	水野克彦	カトリック麻布教会
第24回	2005.11	シュツ、テレマン、ブクステフーデ (カンタータ)	水野克彦	カトリック麻布教会
第25回	2006.11	レヒナー (ヨハネ受難曲)、ゼレンカ (レスボンソリア)	水野克彦	カトリック麻布教会
第26回	2007.10	ブクステフーデ (カンタータ6曲)	水野克彦	カトリック麻布教会
第27回	2008.11	5人のヨーハン (J.S.バッハとその親戚4人)	水野克彦	カトリック麻布教会
第28回	2009.10	メンデルスゾーン、J.ハイドン (レスボンソリア)	水野克彦	カトリック麻布教会
第29回	2010.11	シュツ、シャイン、シャイト、ブクステフーデ、ブルーンズ	水野克彦	同仁キリスト教会
第30回	2011.10	歴代「トーマス・カントル」のバッハ以外の名曲集	水野克彦	日暮里サニーホール
第31回	2012.10	シュツ、ブクステフーデ (メンブラ・イエズ・ノストリ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第32回	2013.12	16～17世紀のクリスマスと新年の名曲	水野克彦	同仁キリスト教会
第33回	2014.11	シュツ (ムジカリッシェ・エクゼクイエ恩ほか)	水野克彦	同仁キリスト教会
第34回	2015.11	トーマスカントル (カルヴィジウス、シャイン、T.ミヒヤエル、J.S.バッハ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第35回	2016.11	シュツ、ブクステフーデ	水野克彦	同仁キリスト教会
第36回	2017.10	ドイツパロック (ローゼンミュラー・パッヘルベル・ブルーンズ等)	水野克彦	同仁キリスト教会
第37回	2018.10	18世紀オーストリアの教会音楽	水野克彦	同仁キリスト教会
第38回	2019.10	テレマンとブクステフーデ (予定)	水野克彦	同仁キリスト教会

東京アマデウス合唱団のご案内

(2018.10現在)

少人数に適したルネッサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い、隠れた名曲を歌っています。

今後の活動予定は下記の通りですが、少人数のバロックのアンサンブルを一緒に楽しみたい方や興味のある方は、下記をご参照下さい。

(事務局 大久保ルミ子)

来年の演奏会「第38回定期演奏会」

日 時 2019年10月6日(日)(予定)
会 場 同仁キリスト教会礼拝堂
演奏曲目 テレマンとブクステフーデ(予定)

<http://t-amadeus.music.coocan.jp>

見学ご希望の方へ(必ず、上記へメール又は下記へ電話でご連絡の上、お出で下さい)

お問い合わせ先

辻村 順子 048-476-4056

大久保ルミ子 03-3960-7714

練習日 毎週水曜日 午後6時30分～9時

練習場所 同仁キリスト教会美登里幼稚園2F

指導者 水野克彦

会 費 月額 5千円(学生半額)

入会金 1千円

この他に、楽譜代・定演参加費(例年4万円程度)がかかります(家族割り・学割あり)

【練習場所への交通案内】右図参照

- ▶ 地下鉄有楽町線護国寺駅6番出口を出て右手に講談社を見ながら直進。大塚警察署の角を右折し、坂道を道沿いに上りきった左手にあり。徒歩5分。
- ▶ JR目白駅から都バス「新宿西口行き」で目白台3丁目下車。徒歩3分。



東京アマデウス合唱団

ソプラノ 辻村順子・中西亜紀子・平石幸枝
アルト 大久保ルミ子・大友美佐・大庭裕子
佐藤由紀子・濱野美保子・堀江和子
テノール 翁長良二・大庭敏彦・柿沼 晫
バス 小林 健・椎野隆志・中西宏年



